

H M 講習

第9回ヘリテージマネージャー育成講習会はこのほど、いわき市で開かれ、昨年度講習に引き続き専称寺の改修状況や国宝・白水阿弥陀堂、飯野八幡宮を見学した。

浄土宗専称寺は、応永2(1395)年に良就十聲(りょうしゅうじゅうしょう)が開創。浄土宗名越派の檀林として発展し、六世良大の時代に、勅願所となった。寛文8(1668)年に加藍の

平成の大改修など

浄土宗
専称寺

いわき方面で視察

大半を焼失したが、同11年に本堂再建。平藩主内藤家の援助を受けて元禄以降に加藍を復興した。国指定重要文化財。震災で総門、庫裏、本堂指定重要文化財。寛文11年の建立が明確となった。本堂北側の

堂などに大きな被害が生じ、文化庁の補助を受けて24年3月から33年3月まで「平成の大改修」を行っている。事業総額は約13億円を見込んでい

庫裏は元禄3(1690)年に建設。1700年後半に内陣外陣境の欄間を欄間彫刻に変更されたと見られる。明治35(1902)年に茅葺から瓦葺、昭和54(1979)年に



飯野八幡宮で説明を受ける参加者

建、寛文8年の火災と盛土により地盤造成し再建したことが分かっている。

復旧工事では、小屋組みを入母屋から寄棟造に戻し、屋根は鉄板葺から茅葺形銅板葺とする予定。文化財建造物保存

瓦葺からメタルフレームの鉄板葺に変えている。解体調査後、本堂内の事務所長が改修工事を説明した。